

学校コード F113310103689

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

亜細亜大学

経営学部

データサイエンス学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人亜細亜学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 企画部経営企画課

職名・氏名 ハラ トシオ
原 登志夫

電話番号 0422-36-3233 (内線: 2060)
(夜間)

e-mail kikaku@asia-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

経営学部

<データサイエンス学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	45

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人亜細亜学園

(2) 大学名

亜細亜大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒180-8629
東京都武蔵野市境5丁目8番

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	トモエ マサオ 巴 政雄 令和3年6月10日		
学長	ナガツナ ケンゴ 永綱 憲悟 令和3年10月1日		
学部長	スズキ ノブユキ 鈴木 信幸 令和4年4月1日		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営学部 データサイエンス学科 学士（経営学）	経済学関係	4年	80人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	320人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率（控除後）	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	80人 (-) [0]	人 () []	1.35倍	倍	倍	倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	339 (-) [0]	() []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	311 (-) [0]	() []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	298 (-) [0]	() []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	108 (-) [0]	() []					
入学定員超過率 B/A													1.35				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	108 [0]	- [-]	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[] ()	[] ()			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	108 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{108} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経営学部 データサイエンス学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	科リテラシー・ゼミナール	1前	2			5	2					兼5
	英語 I	1前	2									兼5
	英語 II	1後	2									兼5
	アラビア語初級 I	1・2・3・4前	1									兼1
	アラビア語初級 II	1・2・3・4後	1									兼1
	アラビア語初級 III	1・2・3・4前	1									兼1
	アラビア語初級 IV	1・2・3・4後	1									兼1
	アラビア語中級 I	2・3・4前	1									兼1
	アラビア語中級 II	2・3・4後	1									兼1
	アラビア語中級 III	2・3・4前	1									兼1
	アラビア語中級 IV	2・3・4後	1									兼1
	中国語初級 I	1・2・3・4前	1									兼1
	中国語初級 II	1・2・3・4後	1									兼1
	中国語初級 III	1・2・3・4前	1									兼1
	中国語初級 IV	1・2・3・4後	1									兼1
	中国語コミュニケーション I	1・2・3・4前	1									兼1
	中国語コミュニケーション II	1・2・3・4後	1									兼1
	中国語コミュニケーション III	1・2・3・4前	1									兼1
	中国語コミュニケーション IV	1・2・3・4後	1									兼1
	中国語中級 I	2・3・4前	1									兼1
	中国語中級 II	2・3・4後	1									兼1
	中国語中級 III	2・3・4前	1									兼1
	中国語中級 IV	2・3・4後	1									兼1
	中国語応用 I	2・3・4前	1									兼1
	中国語応用 II	2・3・4後	1									兼1
	中国語応用 III	2・3・4前	1									兼1
	中国語応用 IV	2・3・4後	1									兼1
	ドイツ語初級 I	1・2・3・4前	1									兼3
	ドイツ語初級 II	1・2・3・4後	1									兼3
	ドイツ語初級 III	1・2・3・4前	1									兼3
	ドイツ語初級 IV	1・2・3・4後	1									兼3
	ドイツ語コミュニケーション I	1・2・3・4前	1									兼1
	ドイツ語コミュニケーション II	1・2・3・4後	1									兼1
	ドイツ語コミュニケーション III	1・2・3・4前	1									兼1
	ドイツ語コミュニケーション IV	1・2・3・4後	1									兼1
	ドイツ語中級 I	2・3・4前	1									兼3
	ドイツ語中級 II	2・3・4後	1									兼3
	ドイツ語中級 III	2・3・4前	1									兼3
	ドイツ語中級 IV	2・3・4後	1									兼3
	ドイツ語応用 I	2・3・4前	1									兼1
	ドイツ語応用 II	2・3・4後	1									兼1
	ドイツ語応用 III	2・3・4前	1									兼1
	ドイツ語応用 IV	2・3・4後	1									兼1
	選択英語 I	1・2・3・4前	1									兼4
	選択英語 II	1・2・3・4後	1									兼4
	選択英語 III	1・2・3・4前	1									兼4
	選択英語 IV	1・2・3・4後	1									兼4
	英語コミュニケーション I	1・2・3・4前	1									兼5
	英語コミュニケーション II	1・2・3・4後	1									兼5
	英語コミュニケーション III	1・2・3・4前	1									兼5
	英語コミュニケーション IV	1・2・3・4後	1									兼5
	英語コミュニケーション V	1・2・3・4前	1									兼5
	英語コミュニケーション VI	1・2・3・4後	1									兼5
	英語コミュニケーション VII	1・2・3・4前	1									兼5
	英語コミュニケーション VIII	1・2・3・4後	1									兼5
	選択英語 V	2・3・4前	1									兼4
	選択英語 VI	2・3・4後	1									兼4
	選択英語 VII	2・3・4前	1									兼4
	選択英語 VIII	2・3・4後	1									兼4
	フランス語初級 I	1・2・3・4前	1									兼2
	フランス語初級 II	1・2・3・4後	1									兼2
	フランス語初級 III	1・2・3・4前	1									兼2
	フランス語初級 IV	1・2・3・4後	1									兼2
	フランス語コミュニケーション I	1・2・3・4前	1									兼1
	フランス語コミュニケーション II	1・2・3・4後	1									兼1
	フランス語コミュニケーション III	1・2・3・4前	1									兼1
	フランス語コミュニケーション IV	1・2・3・4後	1									兼1

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	科リテラシー・ゼミナール	1前	2			5	2					兼5
	英語 I	1前	2									兼5
	英語 II	1後	2									兼5
	アラビア語初級 I	1・2・3・4前	1									兼1
	アラビア語初級 II	1・2・3・4後	1									兼1
	アラビア語初級 III	1・2・3・4前	1									兼1
	アラビア語初級 IV	1・2・3・4後	1									兼1
	アラビア語中級 I	2・3・4前	1									兼1
	アラビア語中級 II	2・3・4後	1									兼1
	アラビア語中級 III	2・3・4前	1									兼1
	アラビア語中級 IV	2・3・4後	1									兼1
	中国語初級 I	1・2・3・4前	1									兼1
	中国語初級 II	1・2・3・4後	1									兼1
	中国語初級 III	1・2・3・4前	1									兼1
	中国語初級 IV	1・2・3・4後	1									兼1
	中国語コミュニケーション I	1・2・3・4前	1									兼1
	中国語コミュニケーション II	1・2・3・4後	1									兼1
	中国語コミュニケーション III	1・2・3・4前	1									兼1
	中国語コミュニケーション IV	1・2・3・4後	1									兼1
	中国語中級 I	2・3・4前	1									兼1
	中国語中級 II	2・3・4後	1									兼1
	中国語中級 III	2・3・4前	1									兼1
	中国語中級 IV	2・3・4後	1									兼1
	中国語応用 I	2・3・4前	1									兼1
	中国語応用 II	2・3・4後	1									兼1
	中国語応用 III	2・3・4前	1									兼1
	中国語応用 IV	2・3・4後	1									兼1
	ドイツ語初級 I	1・2・3・4前	1									兼3
	ドイツ語初級 II	1・2・3・4後	1									兼3
	ドイツ語初級 III	1・2・3・4前	1									兼3
	ドイツ語初級 IV	1・2・3・4後	1									兼3
	ドイツ語コミュニケーション I	1・2・3・4前	1									兼1
	ドイツ語コミュニケーション II	1・2・3・4後	1									兼1
	ドイツ語コミュニケーション III (未開講)	1・2・3・4前	1									兼1
	ドイツ語コミュニケーション IV (未開講)	1・2・3・4後	1									兼1
	ドイツ語中級 I	2・3・4前	1									兼3
	ドイツ語中級 II	2・3・4後	1									兼3
	ドイツ語中級 III	2・3・4前	1									兼3
	ドイツ語中級 IV	2・3・4後	1									兼3
	ドイツ語応用 I	2・3・4前	1									兼1
	ドイツ語応用 II	2・3・4後	1									兼1
	ドイツ語応用 III	2・3・4前	1									兼1
	ドイツ語応用 IV	2・3・4後	1									兼1
	選択英語 I	1・2・3・4前	1									兼3
	選択英語 II	1・2・3・4後	1									兼3
	選択英語 III	1・2・3・4前	1									兼3
	選択英語 IV	1・2・3・4後	1									兼3
	英語コミュニケーション I	1・2・3・4前	1									兼7
	英語コミュニケーション II	1・2・3・4後	1									兼5
	英語コミュニケーション III	1・2・3・4前	1									兼3
	英語コミュニケーション IV	1・2・3・4後	1									兼6
	英語コミュニケーション V	1・2・3・4前	1									兼2
	英語コミュニケーション VI	1・2・3・4後	1									兼2
	英語コミュニケーション VII	1・2・3・4前	1									兼1
	英語コミュニケーション VIII	1・2・3・4後	1									兼1
	選択英語 V	2・3・4前	1									兼4
	選択英語 VI	2・3・4後	1									兼4
	選択英語 VII	2・3・4前	1									兼4
	選択英語 VIII	2・3・4後	1									兼4
	フランス語初級 I	1・2・3・4前	1									兼1
	フランス語初級 II	1・2・3・4後	1									兼1
	フランス語初級 III	1・2・3・4前	1									兼1
	フランス語初級 IV	1・2・3・4後	1									兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	単位	教授	准教授	講師	助教	
全学共通科目	ロシア語初級Ⅰ	1・2・3・4前	1								兼2
	ロシア語初級Ⅱ	1・2・3・4後	1								兼2
	ロシア語初級Ⅲ	1・2・3・4前	1								兼1
	ロシア語初級Ⅳ	1・2・3・4後	1								兼1
	ロシア語中級Ⅰ	2・3・4前	1								兼1
	ロシア語中級Ⅱ	2・3・4後	1								兼1
	ロシア語中級Ⅲ	2・3・4前	1								兼1
	ロシア語中級Ⅳ	2・3・4後	1								兼1
	ロシア語応用Ⅰ	2・3・4前	1								兼1
	ロシア語応用Ⅱ	2・3・4後	1								兼1
	ロシア語応用Ⅲ	2・3・4前	1								兼1
	ロシア語応用Ⅳ	2・3・4後	1								兼1
	スペイン語初級Ⅰ	1・2・3・4前	1								兼6
	スペイン語初級Ⅱ	1・2・3・4後	1								兼6
	スペイン語初級Ⅲ	1・2・3・4前	1								兼1
	スペイン語初級Ⅳ	1・2・3・4後	1								兼1
	スペイン語コミュニケーションⅠ	1・2・3・4前	1								兼1
	スペイン語コミュニケーションⅡ	1・2・3・4後	1								兼1
	スペイン語コミュニケーションⅢ	1・2・3・4前	1								兼1
	スペイン語コミュニケーションⅣ	1・2・3・4後	1								兼1
	スペイン語中級Ⅰ	2・3・4前	1								兼3
	スペイン語中級Ⅱ	2・3・4後	1								兼3
	スペイン語中級Ⅲ	2・3・4前	1								兼2
	スペイン語中級Ⅳ	2・3・4後	1								兼2
	スペイン語応用Ⅰ	2・3・4前	1								兼2
	スペイン語応用Ⅱ	2・3・4後	1								兼2
	スペイン語応用Ⅲ	2・3・4前	1								兼2
	スペイン語応用Ⅳ	2・3・4後	1								兼2
	タイ語初級Ⅰ	1・2・3・4前	1								兼1
	タイ語初級Ⅱ	1・2・3・4後	1								兼1
	タイ語初級Ⅲ	1・2・3・4前	1								兼1
	タイ語初級Ⅳ	1・2・3・4後	1								兼1
	タイ語中級Ⅰ	2・3・4前	1								兼1
	タイ語中級Ⅱ	2・3・4後	1								兼1
	タイ語中級Ⅲ	2・3・4前	1								兼1
	タイ語中級Ⅳ	2・3・4後	1								兼1
	ベトナム語初級Ⅰ	1・2・3・4前	1								兼1
	ベトナム語初級Ⅱ	1・2・3・4後	1								兼1
	ベトナム語初級Ⅲ	1・2・3・4前	1								兼1
	ベトナム語初級Ⅳ	1・2・3・4後	1								兼1
ベトナム語中級Ⅰ	2・3・4前	1								兼1	
ベトナム語中級Ⅱ	2・3・4後	1								兼1	
ベトナム語中級Ⅲ	2・3・4前	1								兼1	
ベトナム語中級Ⅳ	2・3・4後	1								兼1	
アジアの伝統文化	1・2・3・4前後	2								兼1	
アジアを知る12章	1・2・3・4前後	2								兼1	
アメリカ研究入門Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
アメリカ研究入門Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
国際関係論Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
国際関係論Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
西洋史Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
西洋史Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
中国研究Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
中国研究Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
東南アジア研究Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
東南アジア研究Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
東洋史Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
東洋史Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
日本史Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
日本史Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
北東アジア研究Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
北東アジア研究Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
Doing HistoryⅠ	1・2・3・4前	2								兼1	
Doing HistoryⅡ	1・2・3・4後	2								兼1	
海外語学実習Ⅰ	1・2・3・4前	1								兼2	
海外語学実習Ⅱ	1・2・3・4後	1								兼2	
海外語学実習Ⅲ	1・2・3・4前	1								兼2	
海外語学実習Ⅳ	1・2・3・4後	1								兼2	
教養基礎（歴史からみた異文化交流）	1・2通	2								兼1	
アメリカン・スタディーズⅠ	2・3・4前	4								兼1	
アメリカン・スタディーズⅡ	2・3・4後	4								兼1	
アジア・スタディーズⅠ	2・3・4前	4								兼1	
アジア・スタディーズⅡ	2・3・4後	4								兼1	
ジャパン・スタディーズⅠ	3・4通	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	単位	教授	准教授	講師	助教	
全学共通科目	ロシア語初級Ⅰ	1・2・3・4前	1								兼1
	ロシア語初級Ⅱ	1・2・3・4後	1								兼1
	ロシア語初級Ⅲ	1・2・3・4前	1								兼1
	ロシア語初級Ⅳ	1・2・3・4後	1								兼1
	ロシア語中級Ⅰ	2・3・4前	1								兼1
	ロシア語中級Ⅱ	2・3・4後	1								兼1
	ロシア語中級Ⅲ	2・3・4前	1								兼1
	ロシア語中級Ⅳ	2・3・4後	1								兼1
	ロシア語応用Ⅰ	2・3・4前	1								兼1
	ロシア語応用Ⅱ	2・3・4後	1								兼1
	ロシア語応用Ⅲ	2・3・4前	1								兼1
	ロシア語応用Ⅳ	2・3・4後	1								兼1
	スペイン語初級Ⅰ	1・2・3・4前	1								兼1
	スペイン語初級Ⅱ	1・2・3・4後	1								兼1
	スペイン語初級Ⅲ	1・2・3・4前	1								兼1
	スペイン語初級Ⅳ	1・2・3・4後	1								兼1
	スペイン語コミュニケーションⅠ（未開講）	1・2・3・4前	1								兼1
	スペイン語コミュニケーションⅡ（未開講）	1・2・3・4後	1								兼1
	スペイン語コミュニケーションⅢ	1・2・3・4前	1								兼1
	スペイン語コミュニケーションⅣ	1・2・3・4後	1								兼1
	スペイン語中級Ⅰ	2・3・4前	1								兼3
	スペイン語中級Ⅱ	2・3・4後	1								兼3
	スペイン語中級Ⅲ	2・3・4前	1								兼2
	スペイン語中級Ⅳ	2・3・4後	1								兼2
	スペイン語応用Ⅰ	2・3・4前	1								兼2
	スペイン語応用Ⅱ	2・3・4後	1								兼2
	スペイン語応用Ⅲ	2・3・4前	1								兼2
	スペイン語応用Ⅳ	2・3・4後	1								兼2
	タイ語初級Ⅰ	1・2・3・4前	1								兼1
	タイ語初級Ⅱ	1・2・3・4後	1								兼1
	タイ語初級Ⅲ	1・2・3・4前	1								兼1
	タイ語初級Ⅳ	1・2・3・4後	1								兼1
	タイ語中級Ⅰ	2・3・4前	1								兼1
	タイ語中級Ⅱ	2・3・4後	1								兼1
	タイ語中級Ⅲ	2・3・4前	1								兼1
	タイ語中級Ⅳ	2・3・4後	1								兼1
	ベトナム語初級Ⅰ	1・2・3・4前	1								兼1
	ベトナム語初級Ⅱ	1・2・3・4後	1								兼1
	ベトナム語初級Ⅲ	1・2・3・4前	1								兼1
	ベトナム語初級Ⅳ	1・2・3・4後	1								兼1
ベトナム語中級Ⅰ	2・3・4前	1								兼1	
ベトナム語中級Ⅱ	2・3・4後	1								兼1	
ベトナム語中級Ⅲ	2・3・4前	1								兼1	
ベトナム語中級Ⅳ	2・3・4後	1								兼1	
アジアの伝統文化	1・2・3・4前後	2								兼1	
アジアを知る12章	1・2・3・4前後	2								兼1	
アメリカ研究入門Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
アメリカ研究入門Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
国際関係論Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
国際関係論Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
西洋史Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
西洋史Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
中国研究Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
中国研究Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
東南アジア研究Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
東南アジア研究Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
東洋史Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
東洋史Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
日本史Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
日本史Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
北東アジア研究Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
北東アジア研究Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
Doing HistoryⅠ	1・2・3・4前	2								兼1	
Doing HistoryⅡ	1・2・3・4後	2								兼1	
海外語学実習Ⅰ	1・2・3・4前	1								兼2	
海外語学実習Ⅱ	1・2・3・4後	1								兼2	
海外語学実習Ⅲ	1・2・3・4前	1								兼2	
海外語学実習Ⅳ	1・2・3・4後	1								兼2	
教養基礎（歴史からみた異文化交流）	1・2通	2								兼1	
アメリカン・スタディーズⅠ	2・3・4前	4								兼1	
アメリカン・スタディーズⅡ	2・3・4後	4								兼1	
アジア・スタディーズⅠ	2・3・4前	4								兼1	
アジア・スタディーズⅡ	2・3・4後	4								兼1	
ジャパン・スタディーズⅠ	3・4通	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	兼任		
	ジャパン・スタディーズⅡ	4通	2										兼1
	西洋文学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼2
	西洋文学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼2
	中国文学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	中国文学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	ヨーロッパの芸術と文化Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼2
	ヨーロッパの芸術と文化Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼2
	文章表現	1・2・3・4前	2										兼5
	日本の表象文化	1・2・3・4後	2										兼4
	教養基礎Ⅰ(近現代日本の文化と表現)	1・2通	2										兼1
	教養基礎(現代文学入門)	1・2通	2										兼1
	教養基礎(チェスと文学)	1・2通	2										兼1
	教養基礎Ⅰ(理論で読む現代文学)	1・2通	2										兼1
	教養基礎Ⅰ(多様性とアートの教育学)	1・2通	2										兼1
	日本の美術	1・2通	2										兼1
	日本文学(中古)	1・2・3・4前後	2										兼1
	日本文学(中世)	1・2・3・4前後	2										兼1
	日本文学(近世)	1・2・3・4前後	2										兼1
	日本文学(近現代)	1・2・3・4前後	2										兼4
	詩と詩論	2・3・4前後	2										兼1
	日本の伝統芸能	1・2・3・4前後	2										兼1
	表現とメディアⅠ	2・3・4前	2										兼3
	表現とメディアⅡ	2・3・4後	2										兼3
	文章作成技法	2・3・4前後	2										兼5
	経済学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	経済学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	手話入門Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	手話入門Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	社会学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	社会学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	社会思想Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	社会思想Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	宗教学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	宗教学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	女性学	1・2・3・4前後	2										兼2
	政治学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	政治学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	地誌Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	地誌Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	日本思想Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼2
	日本思想Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼2
	文化人類学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	文化人類学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	法学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	法学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	建学の精神を考える	1・2後	2										兼1
	心理学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	心理学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	哲学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	哲学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	倫理学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	倫理学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	心とからだの健康学	1・2・3・4前後	2										兼3
	スポーツ実習	1・2・3・4通	1										兼8
	スポーツ科学概論	1・2・3・4前	2										兼1
	救急処置・予防法	1・2・3・4後	2										兼1
	スポーツ心理学	1・2・3・4前	2										兼1
	スポーツ生理学	1・2・3・4後	2										兼1
	人体の構造と機能	1・2・3・4前	2										兼1
	スポーツトレーニング論	2・3・4後	2										兼1
	スポーツ特別講義	2・3・4後	2										兼1
	スポーツの技術と戦術	2・3・4後	2										兼1
	スポーツの測定と評価	2・3・4後	2										兼1
	リーダーシップとコーチング	2・3・4前	2										兼1
	情報と社会Ⅰ	1前	2			1							兼1
	情報と社会Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	情報リテラシー	1・2・3・4前後	2										兼3
	宇宙と物質	1・2・3・4前後	2			1							兼1
	環境科学	1・2・3・4前後	2										兼1
	自然科学入門Ⅰ	1・2・3・4前	2			1							兼1
	自然科学入門Ⅱ	1・2・3・4後	2			1							兼1
	数学入門Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	数学入門Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	生物学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	兼任		
	ジャパン・スタディーズⅡ	4通	2										兼1
	西洋文学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	西洋文学Ⅱ(未開講)	1・2・3・4後	2										兼2
	中国文学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	中国文学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	ヨーロッパの芸術と文化Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼2
	ヨーロッパの芸術と文化Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	文章表現	1・2・3・4前	2										兼5
	日本の表象文化	1・2・3・4後	2										兼4
	教養基礎(近現代日本の文化と表現)	1・2通	2										兼1
	教養基礎(現代文学入門)(未開講)	1・2通	2										兼1
	教養基礎(チェスと文学)(未開講)	1・2通	2										兼1
	教養基礎Ⅰ(理論で読む現代文学)	1・2通	2										兼1
	教養基礎Ⅰ(多様性とアートの教育学)	1・2通	2										兼1
	日本の美術(未開講)	1・2通	2										兼1
	日本文学(中古)	1・2・3・4前後	2										兼1
	日本文学(中世)	1・2・3・4前後	2										兼1
	日本文学(近世)	1・2・3・4前後	2										兼1
	日本文学(近現代)	1・2・3・4前後	2										兼4
	詩と詩論	2・3・4前後	2										兼1
	日本の伝統芸能	1・2・3・4前後	2										兼1
	表現とメディアⅠ	2・3・4前	2										兼3
	表現とメディアⅡ	2・3・4後	2										兼3
	文章作成技法	2・3・4前後	2										兼5
	経済学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	経済学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	手話入門Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	手話入門Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	社会学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	社会学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	社会思想Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	社会思想Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	宗教学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	宗教学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	女性学	1・2・3・4前後	2										兼2
	政治学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	政治学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	地誌Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	地誌Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	日本思想Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼2
	日本思想Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼2
	文化人類学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	文化人類学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	法学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	法学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	建学の精神を考える	1・2後	2										兼1
	心理学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	心理学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	哲学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	哲学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	倫理学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	倫理学Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	心とからだの健康学	1・2・3・4前後	2										兼3
	スポーツ実習	1・2・3・4通	1										兼8
	スポーツ科学概論	1・2・3・4前	2										兼1
	救急処置・予防法	1・2・3・4後	2										兼1
	スポーツ心理学	1・2・3・4前	2										兼1
	スポーツ生理学	1・2・3・4後	2										兼1
	人体の構造と機能	1・2・3・4前	2										兼1
	スポーツトレーニング論	2・3・4後	2										兼1
	スポーツ特別講義	2・3・4後	2										兼1
	スポーツの技術と戦術	2・3・4後	2										兼1
	スポーツの測定と評価	2・3・4後	2										兼1
	リーダーシップとコーチング	2・3・4前	2										兼1
	情報と社会Ⅰ	1前	2							1			兼1
	情報と社会Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	情報リテラシー	1・2・3・4前後	2										兼3
	宇宙と物質	1・2・3・4前後	2			1							兼1
	環境科学	1・2・3・4前後	2										兼1
	自然科学入門Ⅰ	1・2・3・4前	2			1							兼1
	自然科学入門Ⅱ	1・2・3・4後	2			1							兼1
	数学入門Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1
	数学入門Ⅱ	1・2・3・4後	2										兼1
	生物学Ⅰ	1・2・3・4前	2										兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
	生物学II	1・2・3・4後	2								兼1	
	地理学I	1・2・3・4前	2								兼1	
	地理学II	1・2・3・4後	2								兼1	
	統計学入門I	1・2・3・4前	2								兼2	
	統計学入門II	1・2・3・4後	2								兼2	
	基礎数理I	2・3・4前	2								兼2	
	基礎数理II	2・3・4後	2								兼2	
	プログラミング言語I	1前		3								
	プログラミング言語II	1後		3								
	基礎数理III	2・3・4前	2								兼1	
	基礎数理IV	2・3・4後	2		1							
	データサイエンス入門	1後	2		3							
	表計算とデータサイエンス	1前	2		1						兼1	
	データサイエンス応用プロジェクトI	3前	2		1							
	データサイエンス応用プロジェクトII	3後	2		1							
	数理の世界探究	3・4後	2								兼1	
	キャリアデザイン	1・2前	2								兼1	
	現代アジアとキャリアデザイン	1・2・3・4後	2								兼1	
	キャリア・インターンシップ	2通	4								兼1	
	アジアキャリア開発入門I	1・2前	2								兼3	
	アジアキャリア開発入門II	1・2後	2								兼3	
	キャリアIT入門	2・3・4前	2		1							
	総合学術演習I	3通	4								兼6	
	総合学術演習II	4通	4								兼6	
	全学共通科目小計(313科目)	-	10	443	0							
専門科目	<データサイエンス科目>											
	人工知能概論I	1前	2		1							
	人工知能概論II	1後	2		1							
	メディアプログラミングI	1前	2		1	1						
	メディアプログラミングII	1後	2		1	1						
	データサイエンス・コアI	1前	2		1							
	データサイエンス・コアII	1後	2		1							
	IoT入門	1後	2		1							
	データサイエンス・トップマネジメント特別講義	2後	2			1						
	自然言語処理	2前	2		1							
	データ数理I	2前	2		2							
	データ数理II	2後	2		2							
	データ分析I	2前	2		1							
	データ分析II	2後	2		1							
	データサイエンス・コアIII	2前	2								兼1	
	データサイエンス・コアIV	2後	2								兼1	
	音楽情報処理	2後	2		1							
	アルゴリズム入門	2後	2		1							
	卒業研究I	3通	4		6	2						
	卒業研究II	4通	4		6	2						
	機械学習とディープラーニング	3前	2		1							
	ウェアラブルアプリケーション	3前	2		1							
	モバイルアプリケーション	3前	2		1							
	DX論	3前	2									
	バーチャルリアリティ	3後	2		1							
	ITセキュリティ	3後	2		1							
	<経営科目>											
	ビジネス入門	1前	2									兼7
	経営学	1後	2									兼5
	キャリア論	1・2・3・4前	2									兼1
	ビジネスマナー	1・2・3・4後	1									兼3
	経営と法律	1・2・3・4前	2									兼1
	ビジネス・シミュレーションI	1・2・3・4前	2									兼1
ビジネス・シミュレーションII	1・2・3・4後	2									兼1	
経営財務論	2・3・4前後	2									兼2	
経営戦略論	2・3・4前	2									兼1	
経営組織論入門	2・3・4前	2									兼1	
人事労務管理概論	2・3・4前	2									兼1	
グローバル経営論	2・3・4前	2									兼1	
会社法	2・3・4前	4									兼1	
ビジネスコミュニケーションI	2・3・4前	2									兼1	
ビジネスコミュニケーションII	2・3・4後	2									兼1	
ITとビジネス	2・3・4後	2			1							
トップマネジメント特別講義	3後	2			1							
人的資源管理論	3・4前	2									兼1	
経営組織論	3・4前	2									兼1	
ビジネスモデル分析	3・4前	2									兼1	
中小企業論	3・4後	2									兼1	
技術マネジメント論	3・4後	2									兼1	
産業と技術	3・4前	2									兼1	
経営史	3・4前	4									兼1	
経営システム論	3・4後	4			1							
企業経済学	3・4後	2									兼1	
ファイナンス特講	3・4後	2									兼1	
組織心理学	3・4後	2									兼1	
組織認識論	3・4後	2									兼1	
コーポレートガバナンス論	3・4後	4									兼1	
ベンチャービジネス論	3・4前	2									兼1	
基礎ファイナンス分析	3・4前	2									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
	生物学II	1・2・3・4後	2								兼1	
	地理学I	1・2・3・4前	2								兼1	
	地理学II	1・2・3・4後	2								兼1	
	統計学入門I	1・2・3・4前	2								兼2	
	統計学入門II	1・2・3・4後	2								兼2	
	基礎数理I	1・2・3・4前	2								兼2	
	基礎数理II	1・2・3・4後	2								兼2	
	プログラミング言語I	1前		3								
	プログラミング言語II	1後		3								
	基礎数理III	2・3・4前	2								兼1	
	基礎数理IV	2・3・4後	2		1							
	データサイエンス入門	1後	2		3			2				
	表計算とデータサイエンス	1前	2		1				3		兼1	
	データサイエンス応用プロジェクトI	3前	2		1							
	データサイエンス応用プロジェクトII	3後	2		1							
	数理の世界探究	3・4後	2								兼1	
	キャリアデザイン	1・2前	2								兼2	
	現代アジアとキャリアデザイン	1・2・3・4後	2								兼1	
	キャリア・インターンシップ	2通	4								兼1	
	アジアキャリア開発入門I	1・2前	2								兼3	
	アジアキャリア開発入門II	1・2後	2								兼3	
	キャリアIT入門	2・3・4前	2		1							
	総合学術演習I	3通	4								兼6	
	総合学術演習II	4通	4								兼6	
	全学共通科目小計(313科目)	-	10	443	0							
専門科目	<データサイエンス科目>											
	人工知能概論I	1前	2		1							
	人工知能概論II	1後	2		1							
	メディアプログラミングI	1前	2		1	1						
	メディアプログラミングII	1後	2		1	1						
	データサイエンス・コアI	1前	2		1							
	データサイエンス・コアII	1後	2		1							
	IoT入門	1後	2		1							
	データサイエンス・トップマネジメント特別講義	2後	2			1						
	自然言語処理	2前	2		1							
	データ数理I	2前	2		2							
	データ数理II	2後	2		2							
	データ分析I	2前	2		1							
	データ分析II	2後	2		1							
	データサイエンス・コアIII	2前	2									兼1
	データサイエンス・コアIV	2後	2									兼1
	音楽情報処理	2後	2		1							
	アルゴリズム入門	2後	2		1							
	卒業研究I	3通	4		6	2						
	卒業研究II	4通	4		6	2						
	機械学習とディープラーニング	3前	2		1							
	ウェアラブルアプリケーション	3前	2		1							
	モバイルアプリケーション	3前	2		1							
	DX論	3前	2									
	バーチャルリアリティ	3後	2		1							
	ITセキュリティ	3後	2		1							
	<経営科目>											
	ビジネス入門	1前	2									兼7
	経営学	1後	2									兼5
	キャリア論	1・2・3・4前	2									兼1
	ビジネスマナー	1・2・3・4後	1									兼3
	経営と法律	1・2・3・4前	2									兼1
	ビジネス・シミュレーションI	1・2・3・4前	2									兼1
ビジネス・シミュレーションII	1・2・3・4後	2									兼1	
経営財務論	2・3・4前後	2									兼2	
経営戦略論	2・3・4前	2									兼1	
経営組織論入門	2・3・4前	2									兼1	
人事労務管理概論	2・3・4前	2									兼1	
グローバル経営論	2・3・4前	2									兼1	
会社法	2・3・4前	4									兼1	
ビジネスコミュニケーションI	2・3・4前	2									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	キャリアとリーダーシップ	3・4後	2								兼1
	グローバルビジネス分析	3・4後	2								兼1
	アジアのビジネス環境 I	3・4前	2								兼1
	アジアの企業と経営 II	3・4前後	2								兼1
	アジアのビジネス環境 II	3・4後	2								兼1
	アジアの企業と経営 III	3・4前後	2								兼1
	ビジネスイシューズ I	3・4前	2								兼1
	ビジネスイシューズ II	3・4後	2								兼1
	流通・マーケティング	1後	2								兼6
	マネジリアル・マーケティング論	2・3・4後	4								兼3
	流通論	2・3・4後	4								兼2
	プロダクト・マネジメント論	3・4前	2								兼1
	ブランド・マネジメント論	3・4後	2								兼1
	マーケティング・コミュニケーション論	3・4前	2								兼1
	サービス・マーケティング論	3・4後	2								兼1
	消費者行動論	3・4前	2								兼1
	マーケティング・リサーチ	3・4前	2								兼1
	ソーシャル・マーケティング論	3・4後	2								兼1
	デジタル・マーケティング論	3・4後	2								兼1
	グローバル・マーケティング論	3・4後	2								兼1
	小売マーケティング論	3・4前	2								兼1
	サプライチェーン・マネジメント論	3・4前	2								兼1
	産業財マーケティング論	3・4後	2								兼1
	マーケティング・ケーススタディ	3・4前後	2								兼2
	マーケティング論特講	3・4前	2								兼1
	会計学	1後	2								兼4
	財務会計論	2・3・4後	4								兼2
	財務会計特講	3・4前	2								兼1
	監査論	3・4前	4								兼1
	財務分析論	3・4前	2								兼1
	企業価値評価	3・4後	2								兼1
	管理会計論	3・4後	4								兼1
	原価計算論	3・4前	4								兼1
	データ解析入門	1・2・3・4後	2								兼2
	社会調査法	2・3・4前後	2								兼2
	専門科目小計(92科目)		18	189	0	6	2	0	0	0	
	合計(405科目)		28	632	0	6	2	0	0	0	
卒業要件及び履修方法											
○経営学部データサイエンス学科卒業単位数 124単位 (内訳)全学共通科目 48~58単位 専門科目 58~68単位 演習科目 8単位											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	キャリアとリーダーシップ	3・4後	2									兼1
	グローバルビジネス分析	3・4後	2									兼1
	アジアのビジネス環境 I	3・4前	2									兼1
	アジアの企業と経営 II	3・4前後	2									兼1
	アジアのビジネス環境 II	3・4後	2									兼1
	アジアの企業と経営 III	3・4前後	2									兼1
	ビジネスイシューズ I	3・4前	2									兼1
	ビジネスイシューズ II	3・4後	2									兼1
	流通・マーケティング	1後	2									兼1
	マネジリアル・マーケティング論	2・3・4後	4									兼3
	流通論	2・3・4後	4									兼2
	プロダクト・マネジメント論	3・4前	2									兼1
	ブランド・マネジメント論	3・4後	2									兼1
	マーケティング・コミュニケーション論	3・4前	2									兼1
	サービス・マーケティング論	3・4後	2									兼1
	消費者行動論	3・4前	2									兼1
	マーケティング・リサーチ	3・4前	2									兼1
	ソーシャル・マーケティング論	3・4後	2									兼1
	デジタル・マーケティング論	3・4後	2									兼1
	グローバル・マーケティング論	3・4後	2									兼1
	小売マーケティング論	3・4前	2									兼1
	サプライチェーン・マネジメント論	3・4前	2									兼1
	産業財マーケティング論	3・4後	2									兼1
	マーケティング・ケーススタディ	3・4前後	2									兼2
	マーケティング論特講	3・4前	2									兼1
	会計学	1後	2									兼1
	財務会計論	2・3・4後	4									兼2
	財務会計特講	3・4前	2									兼1
	監査論	3・4前	4									兼1
	財務分析論	3・4前	2									兼1
	企業価値評価	3・4後	2									兼1
	管理会計論	3・4後	4									兼1
	原価計算論	3・4前	4									兼1
	データ解析入門	1・2・3・4後	2									兼2
	社会調査法	2・3・4前後	2									兼2
	専門科目小計(92科目)		16	191	0	6	2	0	0	0		
	合計(405科目)		28	632	0	6	2	0	0	0		
卒業要件及び履修方法												
○経営学部データサイエンス学科卒業単位数 124単位 (内訳)全学共通科目 48~58単位 専門科目 58~68単位 演習科目 8単位												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「**臨地実務実習**」による授業科目には「【臨】」、「**連携実務演習**」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。
- (1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「ドイツ語初級Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼3」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「ドイツ語初級Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼3」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「ドイツ語初級Ⅲ」の兼任・兼任教員の配置を「兼3」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「ドイツ語初級Ⅳ」の兼任・兼任教員の配置を「兼3」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「選択英語Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼4」から「兼3」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「選択英語Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼4」から「兼3」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「選択英語Ⅲ」の兼任・兼任教員の配置を「兼4」から「兼3」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「選択英語Ⅳ」の兼任・兼任教員の配置を「兼4」から「兼3」に変更。 ・ 学生の履修機会確保の理由により、「英語コミュニケーションⅠ」の兼任・兼任教員の配置を「兼5」から「兼7」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「英語コミュニケーションⅢ」の兼任・兼任教員の配置を「兼5」から「兼3」に変更。 ・ 学生の履修機会確保の理由により、「英語コミュニケーションⅣ」の兼任・兼任教員の配置を「兼5」から「兼6」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「英語コミュニケーションⅤ」の兼任・兼任教員の配置を「兼5」から「兼2」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「英語コミュニケーションⅥ」の兼任・兼任教員の配置を「兼5」から「兼2」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「英語コミュニケーションⅦ」の兼任・兼任教員の配置を「兼5」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「英語コミュニケーションⅧ」の兼任・兼任教員の配置を「兼5」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「フランス語初級Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「フランス語初級Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「フランス語初級Ⅲ」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「フランス語初級Ⅳ」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「インドネシア語初級Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「インドネシア語初級Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「インドネシア語初級Ⅲ」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「インドネシア語初級Ⅳ」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「韓国語初級Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「韓国語初級Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「韓国語初級Ⅲ」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「韓国語初級Ⅳ」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 特別研究奨励制度適用により、「ロシア語初級Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 特別研究奨励制度適用により、「ロシア語初級Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「スペイン語初級Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼5」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「スペイン語初級Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼5」から「兼1」に変更。 ・ 学生の履修機会確保の理由により、「海外語学実習Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・ 学生の履修機会確保の理由により、「海外語学実習Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・ 学生の履修機会確保の理由により、「海外語学実習Ⅲ」の兼任・兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・ 学生の履修機会確保の理由により、「海外語学実習Ⅳ」の兼任・兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・ 特別研究奨励制度適用により、「西洋文学Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 特別研究奨励制度適用により、「ヨーロッパの芸術と文化Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 担当教員の退職及び担当者追加により、「女性学」の兼任・兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・ 学生の履修機会確保の理由により、「日本思想Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・ 学生の履修機会確保の理由により、「日本思想Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・ 学生の履修機会確保の理由により、「基礎数理Ⅰ」の開講年次を「2・3・4前」から「1・2・3・4前」に変更。 ・ 学生の履修機会確保の理由により、「基礎数理Ⅱ」の開講年次を「2・3・4後」から「1・2・3・4後」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「データサイエンス入門」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。 ・ 学生の履修機会確保の理由により、「表計算とデータサイエンス」の専任教員等の配置を「教授1」「兼1」から「教授3」に変更。 ・ 兼任教員の採用により、「キャリアデザイン」の兼任・担任等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「ビジネス入門」の兼任・兼任教員の配置を「兼7」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「経営学」の兼任・兼任教員の配置を「兼5」から「兼1」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「流通・マーケティング」の兼任・兼任教員の配置を「兼6」から「兼1」に変更。 ・ 届出時の不備により、「会計学」の科目区分を「必修」から「選択」に変更。 ・ 開講クラス数の見直しの理由により、「会計学」兼任・兼任教員の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
--

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
35 科目	370 科目	科目	405 科目	35 科目 [0]	370 科目 [0]	科目 []	405 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	ドイツ語コミュニケーションⅢ	1	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
2	ドイツ語コミュニケーションⅣ	1	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
3	フランス語コミュニケーションⅠ	1	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
4	フランス語コミュニケーションⅡ	1	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
5	スペイン語コミュニケーションⅠ	1	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
6	スペイン語コミュニケーションⅡ	1	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
7	西洋文学Ⅱ	1	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため、代講無
8	教養基礎（現代文学入門）	2	1・2通	一般	選択	特別研究奨励制度適用のため、代講無
9	教養基礎（チェスと文学）	2	1・2通	一般	選択	特別研究奨励制度適用のため、代講無
10	日本の美術	2	1・2通	一般	選択	隔年開講のため

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和5年度未開講科目は科目担当者の都合により各年開講、または特別研究奨励制度のため令和6年度に開講される。未開講科目は全学共通科目の選択科目に該当するため、卒業要件に大きな影響がないものの、配当年次に開講されるよう検討したい。
また、開講科目は本学のポータルサイトのシラバスページから確認することができ、履修ガイダンスやポータルサイトから周知している。個別の問い合わせについては、メールや事務窓口で対応している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{10}{405} = \boxed{2.46} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	R5日の出キャンパス再 開発工事（R5.3.31完 了）による敷地面積変 更のため（5）	
	校舎敷地	52,539.86 m ² 52,647.49 m ²	0m ²	0m ²	52,539.86 m ² 52,647.49 m ²		
	運動場用地	93,106.84 m ² 92,999.21 m ²	0m ²	0m ²	93,106.84 m ² 92,999.21 m ²		
	小 計	145,646.70 m ²	0m ²	0m ²	145,646.70 m ²		
	そ の 他	2,431.63 m ²	0m ²	0m ²	2,431.63 m ²		
	合 計	148,078.33 m ²	0m ²	0m ²	148,078.33 m ²		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
		62,180.08 m ² (62,180.08 m ²)	0m ² (0m ²)	0m ² (0m ²)	62,180.08 m ² (62,180.08 m ²)		
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
		102室	22室	3室	11室 (補助職員 0人)	2室 (補助職員 0人)	
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		
		経営学部 データサイエンス学科			8 室		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点
	経営学部 データサイエ ンス学科	555,085 [163,069] 567,954 [173,262]	(4,889 [2,036]) (4,864 [1,990])	(34,557 [34,556]) (31,314 [31,314])	14,156 14,313	0	0
		537,447 [160,996] 545,954 [169,762]	(4,889 [2,036]) (4,864 [1,990])	(34,557 [34,556]) (31,314 [31,314])	(14,156) -(14,313)	0	0
	計	555,085 [163,069] 567,954 [173,262]	(4,889 [2,036]) (4,864 [1,990])	(34,557 [34,556]) (31,314 [31,314])	14,156 14,313		
		537,447 [160,996] 545,954 [169,762]	(4,889 [2,036]) (4,864 [1,990])	(34,557 [34,556]) (31,314 [31,314])	(14,156) -(14,313)	() ()	
(6) 図 書 館		面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
		8,967 m ²	742 745		821,750		
(7) 体 育 館		面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				
		3,963.00 m ²	野球場 2面 陸上トラック 1面 サッカー場 1面 多目的競技場 1面		武道館 トレーニングセンター トレーニングルーム 雨天体操場 テニスコート 10面		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
	経費の見積り	400千円	400千円	図書購入費	/	800千円	800千円
	共同研究費等	3,686千円 3,730千円	4,117千円	設備購入費		0千円	3,076千円 2,855千円
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,250千円	第2年次 1,020千円	第3年次 1,020千円	第4年次 1,020千円	第5年次 千円	第6年次 千円
学生納付金以外の維持方法の概要			学生納付金収入以外にも、手数料収入、寄付金収入、補助金収入等があり、これらの収入も経費の財源として、学生数等の合理的な按分方法で配分し、維持・運営を図る。				

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、

複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		亜細亜大学				平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	5	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	5
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人	-	倍	倍	倍	倍	年度	年度		
経営学部													
経営学科	4	325	3年次15	1,330	学士(経営学)	1.23	1.23	1.23	1.23		昭和45	東京都武蔵野市境5丁目8番	
ホスピタリティ・マネジメント学科	4	150	-	600	学士(経営学)	1.11	1.11	1.11	1.11		平成21		
データサイエンス学科	4	80	-	320	学士(経営学)	1.36	1.36	1.36	1.36	1.36	令和5		
経済学部													
経済学科	4	250	-	1,000	学士(経済学)	1.19	1.19	1.19	1.19		昭和39		
法学部													
法律学科	4	320	-	1,280	学士(法学)	1.07	1.07	1.07	1.07		昭和41		
国際関係学部													
国際関係学科	4	130	-	520	学士(国際関係)	1.21	1.21	1.21	1.21		平成2		
多文化コミュニケーション学科	4	130	-	520	学士(国際関係)	1.17	1.17	1.17	1.17		平成24		
都市創造学部													
都市創造学科	4	145	-	580	学士(都市創造学)	0.99	0.99	0.99	0.99		平成28		
大学全体	4	1,530	3年次15	6,150	-	-	1.13	-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
 ・学部等の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。□
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず本字にしてください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

「5 教員組織の状況」

(1) ー① 担当教員表

19 頁から 37 頁は、個人情報を含むため削除してあります。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

特になし。

【令和6年度】

【令和7年度】

【令和8年度】

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	8
	4
	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	2	0	0	8	0	6	2	0	0	8	0
(6)	(2)	(0)	(0)	(8)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
6	2	0	0	8	0	6	2	0	0	8	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計（F）						後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	0 科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	0 科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	0 科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (令和5年)	該当なし	【認可】 遵守事項	履行中
認 可 時 (令和〇〇年)		【認可】 助言事項	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和〇〇年度)		【A C】 指摘事項 (是正)	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和△△年度)		【A C】 指摘事項 (改善)	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年度)		【A C】 指摘事項 (法令違 反)	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年度)		【A C】 指摘事項 (是正)	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年度)		【A C】 指摘事項 (改善)	履行中

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営学部 データサイエンス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的には「全学FD・SD委員会」が設置されており、同委員会は、学長を委員長とし、副学長、各学部長、各研究科委員長、全学委員会各委員長を委員としている。経営学部長においても、この委員会の構成員となっており、全学的な見地からFD・SD活動を通じての教員の資質維持向上の方策を検討している。全学FD・SD委員会における検討は、各学部でのFD活動と相互に連動しており、経営学部では、教授会において全学FD活動と整合した学部独自のFD活動の展開を審議している。学部FD活動に関する企画提案についても、同様のプロセスを経て教授会での審議に付され、必要に応じて全学FD・SD委員会に報告される。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

全学FD・SD委員会は毎年度開催されており、令和4年度実績として、第1回が令和4年4月27日に開催され、委任出席者1名を含め、全委員が出席した。第2回は令和5年3月22日に開催され、欠席者1名を除き、全委員が出席した。なお、令和5年度は第1回を5月16日に開催し、第2回は9月下旬、第3回は3月下旬に開催を予定している。

c 委員会の審議事項等

令和4年4月27日開催の第1回全学FD・SD委員会では、令和4年度の学部・研究科における全学FD活動方針について審議了承された。令和5年3月22日開催の第2回全学FD・SD委員会では、令和5年度的全学FD・SD活動方針について審議了承された。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 全学FD・SD委員会（年2回）開催
- ・ FD・SD研修会（年5回）開催
- ・ 新任教員のための研修会（一般社団法人 日本私立大学連盟主催）に参加

b 実施方法

① 全学FD・SD委員会（年2回）開催

令和4年4月27日開催の第1回全学FD・SD委員会では、令和4年度の学部・研究科における全学FD活動方針について検討を行った。令和5年3月22日開催の第2回全学FD・SD委員会では、令和5年度の学部・研究科における全学FD・SD活動方針について検討を行った。

② FD・SD研修会（年5回）開催

FD・SD研修会を以下の内容で開催し、検討を行った。

第1回 令和4年4月1日「令和4年度全学FD・SD活動方針について」

第2回 令和4年5月13日「カリキュラムマップの先行事例等紹介」

第3回 令和4年7月1日「障害学生への合理的配慮について—発達障害・精神障害を中心に—」

第4回 令和4年10月14日「学園の財政状況について」

第5回 令和4年12月16日「カリキュラムマップ報告会」

③ 新任教員のための研修会（一般社団法人 日本私立大学連盟主催）

（一社）日本私立大学連盟が毎年度8月に開催している、「FD推進ワークショップ—新任専任教員を中心に募集—」について、本学では新任専任教員への参加を促している。経営学部においては、他大学での専任教員としての勤務経験を有している新任専任教員（特任教員としての経験を含む）は4名であり、1名についてはその経験を有していない。経営学部では、この1名が同ワークショップへ参加できるように要請する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

① 全学FD・SD委員会（年2回）開催

全学FD・SD委員会は毎年度開催されており、令和4年度実績として、第1回が令和4年4月27日に開催され、委任出席者1名を含め、全委員が出席した。第2回は令和5年3月22日に開催され、欠席者1名を除き、全委員が出席した。なお、令和5年度は第1回を5月16日に開催し、第2回は9月下旬、第3回は3月下旬に開催を予定している。

② FD・SD研修会（年5回）開催

FD・SD研修会を以下の内容で開催した。

第1回 参加者数：247名

第2回 ライブ参加者数：60名

第3回 ライブ参加者数：72名（アンケート回答数）

第4回 参加者数：72名（アンケート回答数）

第5回 参加者数：104名

③ 新任教員のための研修会

本年8月開催予定であるが、経営学部からは他大学での専任教員（特任教員を含む）の経験を有していない1名の新任専任教員の参加を要請する。5月の学部長会において、他学部新任専任教員の参加と合わせて審議される予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

① 全学FD・SD委員会（年2回）開催

令和4年4月27日開催の第1回全学FD・SD委員会では、令和4年度の学部・研究科における全学FD活動方針について審議され、新たな中長期計画（亜細亜大学中・長期計画—新・アジア未来マップ—第3期中期行動計画—アジア（亜細亜）からグローバルへ）（令和4年3月24日制定）に基づいて、「楽しい大学・面白授業の構築」の実現を目指し、より一層の学修者自身による「学修成果の可視化」実現のために、学科別に「カリキュラムマップ」を作成することが了承された。その後、各学科で完成したカリキュラムマップは、履修の手引に掲載し、新入生には配布、上級生には大学ポータルサイトを通じて共有されている。なお、令和5年秋学期から「学習成果把握・可視化」システムを導入し、カリキュラムマップを基にディプロマ・ポリシーの達成状況を学生自身が把握する環境を整える予定である。

令和5年3月22日開催の第2回全学FD・SD委員会では、令和5年度の全学FD・SD活動方針について審議され、中長期計画に基づいて、「楽しい大学・面白授業の構築」の実現を目指し、令和4年度に引き続き、教学マネジメント指針を意識した「学習成果把握・可視化」システムの運用及び可視化手段として、学内で実施している各種アンケートを収集・分析し、全学的課題を共有する体制を構築することが了承された。

② FD・SD研修会（年5回）開催

FD・SD研修会を年5回開催することにより、教職員に対して授業改善に対する意識の向上を図ることができた。

③ 新任教員のための研修会

研修会の実施は8月が予定されているため、参加予定の1名の教員については、過去の参加者の報告書等を事前に参照するように促していく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学生による授業アンケートを春学期・秋学期の各学期末に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

年2回刊行のFD・SDレターに掲載、大学公式サイトで公開している。なお、本学では、担当教員は集計結果を個票にして確認することができ、各教員の判断において、学生へのフィードバックも授業期間内に行うことが可能となっている。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経営学部データサイエンス学科は、経済的社会的諸課題をAI・デジタル技術を駆使して解決する、いわゆるデータサイエンティストの育成を目的としている。とりわけ、経営学部内学科として、ビジネス領域の学問をあわせて身につけることで、顧客課題や経営管理課題の発見・解決に貢献できる人材育成を目指している。

同学科は、令和5年度の開設から1か月が経過し、計画どおり学科運営ができています。開設年度から本学の「内部質保証に関する規程」に基づき、自己点検・評価活動を行う予定である。主な初年度教育は以下のとおりである。

データサイエンスのコア領域であるAIと機械学習を理解し活用するためには、基礎となる「数学」、「統計学」並びに「データ」の扱い方を学修するとともに「プログラミング」スキル、さらに外国で開発されたライブラリやツールを共有・活用し、課題解決を行えるよう「英語」の語彙力や読解力が必要となる。

そのため、データサイエンス学科のカリキュラムでは、データサイエンスの基礎と幅広い教養を身につけることができるよう、初年次科目として、必修科目に「人工知能概論」、「データサイエンス入門」、「ビジネス入門」、そして本学の特色を生かしたネイティブ教員による英語教育「英語（F・E）」を配置している。さらに、一般入試をはじめとする入学試験では、データサイエンスを学ぶ上で基礎となる数学を基本にしているが、公募推薦入試では試験科目に数学が含まれていないことから、演習科目の「オリエンテーション・ゼミナール」において、約半年間で数学の基礎力を補う支援体制を整えている。また、学生の履修支援として、全学部の新生を対象にした履修ガイダンスを実施し、4年間の学びを体系的に周知している。

学生生活においては、新生が抱える様々な不安を解消し、安心して充実した学生生活を送れるよう新生オリエンテーションの一環として「出会いの広場」を開催している。

令和5年度実績として、データサイエンス学科は入学定員80名に対し、志願者339名、入学者108名を得た。DXやデータサイエンス能力が社会的に求められている背景から、本学及び当学科に対する一定の社会的評価がなされたものと解釈できる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和9年3月31日 公表予定

b 公表方法

- ・認証評価結果を大学公式サイト上に公開 (<https://www.asia-u.ac.jp/about/checkup/>)

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

- ・令和8年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、毎年度の自己点検活動に取り組んでいる

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。